

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分
 【発行日】平成 19 年 1 月 18 日 (2007.1.18)

【公開番号】特開 2005-254805 (P2005-254805A)
 【公開日】平成 17 年 9 月 22 日 (2005.9.22)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-037
 【出願番号】特願 2005-25572 (P2005-25572)
 【国際特許分類】

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

B 4 1 M 5/00 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Z

B 4 1 M 5/00 A

B 4 1 M 5/00 E

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 11 月 28 日 (2006.11.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

記録ヘッドから記録媒体に対してインクを吐出することにより画像の記録を行うインクジェット記録装置において、

前記記録媒体に対して液体を塗布するための塗布手段と、

前記塗布手段により液体が塗布された記録媒体上の領域に対して前記記録ヘッドからインクを吐出させて画像を記録する記録手段と、を具備、

前記塗布手段は、前記記録媒体に対して液体を塗布する面であって実質的に凹凸のない塗布面を有する塗布部材と、前記塗布部材の塗布面に当接して形成される液体保持空間に液体を保持するための保持部材とを備え、前記塗布部材の塗布面を回転させることにより、前記液体保持空間に保持された液体を前記塗布面を介して前記記録媒体に塗布することを特徴とするインクジェット記録装置。

【請求項 2】

前記塗布部材の塗布面には、前記インクで記録すべき画像のパターンが形成されていないことを特徴とする請求項 1 に記載のインクジェット記録装置。

【請求項 3】

前記塗布部材は塗布ローラであることを特徴とする請求項 1 に記載のインクジェット記録装置。

【請求項 4】

前記塗布手段における塗布ローラは所定量の回転を間歇的に行い、記録媒体に対して当該塗布領域を異ならせて塗布を順次に行うとともに、前記記録手段は当該記録動作に際して記録媒体を搬送するための搬送ローラを備え、該搬送ローラは所定量の回転を間歇的に行うことにより、記録媒体に対して当該インク吐出領域を異ならせて記録を順次に行うことにより、前記記録手段が記録ヘッドから記録媒体の搬送方向下流側の第 1 領域にインクを吐出して記録するとき、前記塗布手段は塗布ローラが前記記録媒体の搬送方向上流側の第 2 領域への塗布を行い、前記塗布ローラによる間欠搬送量と前記搬送ローラによる間欠搬送量は同じであることを特徴とする請求項 3 に記載のインクジェット記録装置。

【請求項 5】

前記塗布ローラにより液体が塗布された記録媒体を前記記録ヘッドに対向する位置へ搬送するための搬送路を更に有し、

前記塗布ローラから前記記録ヘッドへ至る搬送路の長さは、当該記録装置で使用が想定される記録媒体の最大長よりも短いことを特徴とする請求項 3 または 4 のいずれかに記載のインクジェット記録装置。

【請求項 6】

前記塗布ローラにより記録媒体全面に塗布された後、記録ヘッドに対向する位置へ前記記録媒体が搬送されて当該記録媒体に対して前記記録ヘッドによりインクが吐出されることを特徴とする請求項 1 ないし 3 のいずれかに記載のインクジェット記録装置。

【請求項 7】

記録ヘッドから記録媒体に対してインクを吐出することにより画像の記録を行うインクジェット記録装置において、

前記記録媒体に対して液体を塗布するための塗布手段と、

前記塗布手段により液体が塗布された記録媒体上の領域に対して前記記録ヘッドからインクを吐出させて画像を記録する記録手段と、を具備、

前記塗布手段は、前記記録媒体に対して液体を塗布する塗布面を有する塗布部材と、前記塗布部材の塗布面に当接して形成される液体保持空間に液体を保持するための保持部材とを備え、前記塗布部材の塗布面を回転させることにより、前記液体保持空間に保持された液体を前記塗布面を介して前記記録媒体に塗布し、

前記塗布部材の塗布面には、前記インクで記録すべき画像のパターンが形成されていないことを特徴とするインクジェット記録装置。

【請求項 8】

記録媒体に対して画像の記録を行う記録装置において、

前記記録媒体に対して液体を塗布するための塗布手段と、

前記塗布手段により液体が塗布された記録媒体上の領域に対して画像を記録する記録手段と、を具備、

前記塗布手段は、前記記録媒体に対して液体を塗布する面であって実質的に凹凸のない塗布面を有する塗布部材と、前記塗布部材の塗布面に当接して形成される液体保持空間に液体を保持するための保持部材とを備え、前記塗布部材の塗布面を回転させることにより、前記液体保持空間に保持された液体を前記塗布面を介して前記記録媒体に塗布することを特徴とする記録装置。

【請求項 9】

記録媒体に対して画像の記録を行う記録装置において、

前記記録媒体に対して液体を塗布するための塗布手段と、

前記塗布手段により液体が塗布された記録媒体上の領域に対して画像を記録する記録手段と、を具備、

前記塗布手段は、前記記録媒体に対して液体を塗布する面であって実質的に凹凸のない塗布面を有する塗布部材と、前記塗布部材の塗布面に当接して形成される液体保持空間に液体を保持するための保持部材とを備え、前記塗布部材の塗布面を回転させることにより、前記液体保持空間に保持された液体を前記塗布面を介して前記記録媒体に塗布し、

前記塗布部材の塗布面には、記録すべき画像のパターンが形成されていないことを特徴とする記録装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0009

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【0009】

そのために、記録ヘッドから記録媒体に対してインクを吐出することにより画像の記録

を行うインクジェット記録装置において、前記記録媒体に対して液体を塗布するための塗布手段と、前記塗布手段により液体が塗布された記録媒体上の領域に対して前記記録ヘッドからインクを吐出させて画像を記録する記録手段と、を具え、前記塗布手段は、前記記録媒体に対して液体を塗布する面であって実質的に凹凸のない塗布面を有する塗布部材と、前記塗布部材の塗布面に当接して形成される液体保持空間に液体を保持するための保持部材とを備え、前記塗布部材の塗布面を回転させることにより、前記液体保持空間に保持された液体を前記塗布面を介して前記記録媒体に塗布することを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

他の形態では、記録ヘッドから記録媒体に対してインクを吐出することにより画像の記録を行うインクジェット記録装置において、前記記録媒体に対して液体を塗布するための塗布手段と、前記塗布手段により液体が塗布された記録媒体上の領域に対して前記記録ヘッドからインクを吐出させて画像を記録する記録手段と、を具え、前記塗布手段は、前記記録媒体に対して液体を塗布する塗布面を有する塗布部材と、前記塗布部材の塗布面に当接して形成される液体保持空間に液体を保持するための保持部材とを備え、前記塗布部材の塗布面を回転させることにより、前記液体保持空間に保持された液体を前記塗布面を介して前記記録媒体に塗布し、前記塗布部材の塗布面には、前記インクで記録すべき画像のパターンが形成されていないことを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

さらに他の形態では、記録媒体に対して画像の記録を行う記録装置において、前記記録媒体に対して液体を塗布するための塗布手段と、前記塗布手段により液体が塗布された記録媒体上の領域に対して画像を記録する記録手段と、を具え、前記塗布手段は、前記記録媒体に対して液体を塗布する面であって実質的に凹凸のない塗布面を有する塗布部材と、前記塗布部材の塗布面に当接して形成される液体保持空間に液体を保持するための保持部材とを備え、前記塗布部材の塗布面を回転させることにより、前記液体保持空間に保持された液体を前記塗布面を介して前記記録媒体に塗布することを特徴とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

さらに他の形態では、記録媒体に対して画像の記録を行う記録装置において、前記記録媒体に対して液体を塗布するための塗布手段と、前記塗布手段により液体が塗布された記録媒体上の領域に対して画像を記録する記録手段と、を具え、前記塗布手段は、前記記録媒体に対して液体を塗布する面であって実質的に凹凸のない塗布面を有する塗布部材と、前記塗布部材の塗布面に当接して形成される液体保持空間に液体を保持するための保持部材とを備え、前記塗布部材の塗布面を回転させることにより、前記液体保持空間に保持された液体を前記塗布面を介して前記記録媒体に塗布し、前記塗布部材の塗布面には、記録すべき画像のパターンが形成されていないことを特徴とする。